

御南小学校を巣立っていく卒業生に贈ったメッセージです。↓

祝卒業

131名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんは、特にこの一年間、最高学年のプライドをもって、御南小学校の顔として、また、リーダーとして大活躍しました。体育参観や音楽参観での力強くカッコいい姿や素敵な姿はもちろんのこと、登校班や委員会活動、ふだんの掃除など、学校のために惜しみなく働く姿はお手本であり、在校生のみなさんのモデルになっていました。私も感謝の気持ちでいっぱいです。いつも学校中にいい雰囲気をつくりまわってくれてありがとう。強豪チームの教えによくある「先輩の後ろ姿を見て育つ」は、まさにそのとおりだと感じています。きっと、みなさんから託されたバトンは、在校生のみなさんにしっかりと受け継がれていくことでしょう。素晴らしい「伝統」を残してくれてありがとう。六年間の成長の大きさに感激です。

さて、WBC（ワールドベースボールクラシック）2023年大会で侍ジャパンのメンバーに選ばれた、大リーグ、エンジェルスの大谷翔平選手をご存じでしょうか？2021年には、打者として46本のホームランを放ち、投手として9勝を挙げ、アメリカンリーグでMVP（最優秀選賞）に選ばれるなど、「リアル二刀流」として活躍しました。その大谷選手の名言に、『成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみることの方が大事』があります。これは、「新しい世界に挑戦することとは大変な勇気があることですが、成功すると思うからやってみたい、それができないと思うからやらないという判断基準では後悔を生む」という考え方だそうです。

卒業生のみなさんがこれから先に何かをがんばろうとするとき、その理想や目標に対して、少しでも近づいている感覚がもてると人生がすごく充実してきます。ただし、挑戦すれば、成功もあれば失敗のリスクもあります。時として「挫折感」や「重圧」を感じることは当たり前にあります。でも、挑戦せずして成功はありません。みなさんのみなぎるパワーは必ず自信につながるものであってほしいと思っています。そういう意味では、自分が前進をする上で、また、自分を成長させるために、「できると思うから挑戦するのではなく、やりたいと思うなら挑戦すればいい。」「無理だと思わないことが一番大切で、無理だと思ったらその時点で終わりだ。」と思うのです。上を向いて、ポジティブに考えて、何事にもチャレンジしていけばいいと思うのです。たとえ、どんな結果になろうと後悔はないと思うのです。

私は、今を生きる全ての人のモチベーションに通じるであろうこの名言をこれからも大切にしていきたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、この6年間、様々なご支援・ご理解・ご協力をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。今後とも、今までと変わらず、ずっと良き相談相手として、また応援団として、子どもたちを支えていただきますようお願い致します。私たち教職員も子どもたちのこれからのご活躍を心から応援しています

校長 菅野 純郎

6年生を送る会 3. 2

5年生の運営委員が中心となって「6年生を送る会」が行われました。新型コロナウイルス感染拡大の予防のため、全校児童が一堂に集まりませんでしたが、6年生は体育館にずっといて、各学年が順番にお祝いの出し物等を6年生の前で行いました。はじめの言葉、6年生からのメッセージ、校旗受け渡し、校長先生の話、終わりの言葉は校内放送で行いました。この1年間、御南小学校のために頑張った6年生から、次のリーダーになる5年生へのバトンタッチの象徴である「校旗の引継ぎ」を行いました。1年生から、6年生にお礼の気持ちを込めて作ったメダルが贈られました。6年生は、この日一日、ずっとメダルを胸にかけていました。



体育館での6年児童



出し物をする在校生



出し物をする在校生



校旗の受け渡し



教室 TV 放送を視聴している6年児童



在校生にお礼をしている6年児童

6年生の 御南小 ♥愛♥

6年生が、卒業式を目前に控え、今まで過ごした学び舎にお礼の気持ちを込めて、校内の色々な所をきれいにする活動を行いました。

下学年の教室や特別教室の流し、給食の配膳台、トイレ、ほうきのゴミ取りを行いました。事前に、実行委員会を立ち上げて、校内のどこが汚れているか、どこがそうじが行き届いてないかを見て回りました。

他の学年は授業中だったので、6年生はとても静かにひたむきに掃除をしました。その6年生の姿を見て、下学年の子どもたちは感謝の気持ちを抱いたことと思います。



6年生の 御南 地域 ♥愛♥

3月7日（火）、6年生は、今までお世話になった地域に、感謝の思いを表そうと、笹ヶ瀬川の河川敷にクローバーの種をまきました。

地域の方が、笹ヶ瀬川の河川敷の草刈りや清掃活動をされていて、とても美しい環境が保たれています。自分たちにも何かできることはないかと考え、澤井連合町内会長さんと相談の上、取り組みました。

当日は、地域の方が大勢出てきてくださり、助けてくださいました。「中学生になったころ河川敷一面にクローバーの花が咲くといいね。」と、地域の方から声をかけられました。

この活動を通して、地域の方の思いや願いにあらためて気づき、これからもこの御南学区に愛着をもってくれることを願っています。



地域の方の読み聞かせ

数年前から、地域のボランティア「ききみみうさぎ」の方による読み聞かせが行われています。始業前に、各クラスにボランティアの方が来られ、絵本を読んでもらっています。

子どもたちはとてもよく集中して聞き入っています。読み手の方の声のトーン、速さ、強弱等、とても洗練された読み方で、子どもたちは絵本の世界に引き込まれています。



しずカニキャンペーン

美化委員会が中心となって、「しずカニキャンペーン」を行いました。掃除の時間いっぱい、黙って掃除をしようと呼び掛けました。黙って掃除をすることで掃除に集中でき、学校中をきれいにしようということをねらっています。



学級園の整備

今年度も学級園にサツマイモ、野菜、ヘチマ、ジャガイモ、花等を栽培して、生活科や理科の学習を行いました。学級園の整備は地域のボランティアの方がとてもよくしてくださっていて助かっています。3月初めには、教職員も学級園を耕しました。次年度も学級園で充実した学習ができるようにとの思いを込めて取り組みました。



校庭のハナミズキのつぼみの膨らみに早春の息吹を感じます。

3月17日は、卒業式でした。131名の児童が御南小学校を巣立っていきました。そして明日は、修了式です。今年度もコロナ禍の影響を受け、行事等の変更がありましたが、保護者、地域の皆様のお力添えのもと、無事に年度末を迎えることができそうです。今後とも温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。